

ぎんが



2023.7.18

小国町議会だより 第157号



吉田チェリーちゃんの
トリミング中です!

表紙関連記事は16ページ

スマホ
からも
ご覧いただけます!

6月定例会 全議案承認 新たな構成きまる!

主な内容

- 委員会構成 3ページ～
- 臨時会 定例会 4ページ～
- 一般質問 8ページ～

構成決まる

副議長あいさつ
小国町議会副議長
遠藤 和彦

かずひこ



議長の補佐役はもちろんのこと、町の山積する課題に全力で取り組み、町民の負託にしっかりと応えていくとともに、町民の関心がより高まるよう、開かれた透明感のある議会づくりを目指してまいります。

そのためには、町民と語る会や高校生との意見交換会等を通して、皆さまの声に耳を傾けることが町の発展に寄与するものと認識しております。また、町民の幸せづくりのための議論と活動こそが議会の本務であることを肝に銘じ、町民の代表である議会議員として、行政を監視し、また一体となって取り組むことが重要と考えております。

新たな時代に向けて、皆さまと心を合わせ努力してまいります。ご理解ご協力をお願いいたします。

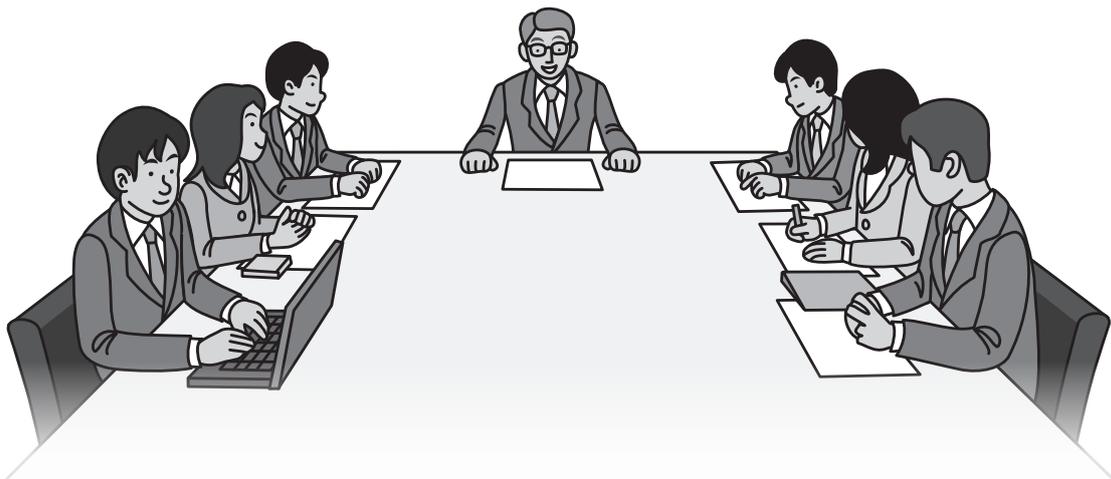
議長あいさつ
小国町議会議長
安部 春美

あべ はるみ



現在日本は、人口減少・少子高齢化の急速な進行や、頻発する災害への対応など様々な課題に直面しています。こうした状況を背景に、地方自治体には先を見据えた効果的な対策が、そして地方議会にはその運営を監視しつつも、行政と一体となった取り組みが求められています。これまで当議会では、町民の方々との意見交換等の場を通して、皆さまの声に耳を傾けてきました。町づくりを確かな方向に導くためにも、このことを継続し、町民の負託にこたえられる開かれた議会、町民に寄り添える議会づくりを目指してまいります。

町の経済は復活に向け大きく動き出しています。今後も地域の経済活動を支えながら、持続可能で豊かさを実感できる町づくりの実現に向け、尽力してまいりますので、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。



新

議長・副議長 各委員会

所管

総務企画課、税務課、町民課、健康福祉課、病院、訪問看護ステーション、老人保健施設、選挙管理委員会、監査委員、他の常任委員会
の所管に属しない事項



総務厚生常任委員会

- ◆委員長 宮尚江
- ◆副委員長 柴田伸也
- ◆委員 小関和好、伊藤弘行、安部春美

所管

議会の運営に関する事項、議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項、議長の諮問に関する事項等



議会運営委員会

- ◆委員長 小関尚江
- ◆副委員長 宮藤和彦
- ◆委員 遠藤重信、渡邊弘行

所管

議会の広聴広報に関する事項



広聴広報常任委員会

- ◆委員長 伊藤弘行
- ◆副委員長 石山久美子
- ◆委員 柴田伸也、小関和好、宮尚江、遠藤和彦

所管

産業振興課、農林振興課、地域整備課、教育委員会、農業委員会



文教産建常任委員会

- ◆委員長 渡邊重信
- ◆副委員長 石山久美子
- ◆委員 高野健人、遠藤和彦、小関和彦

監査
運 伊藤 弘行
柴田 伸也
石山久美子

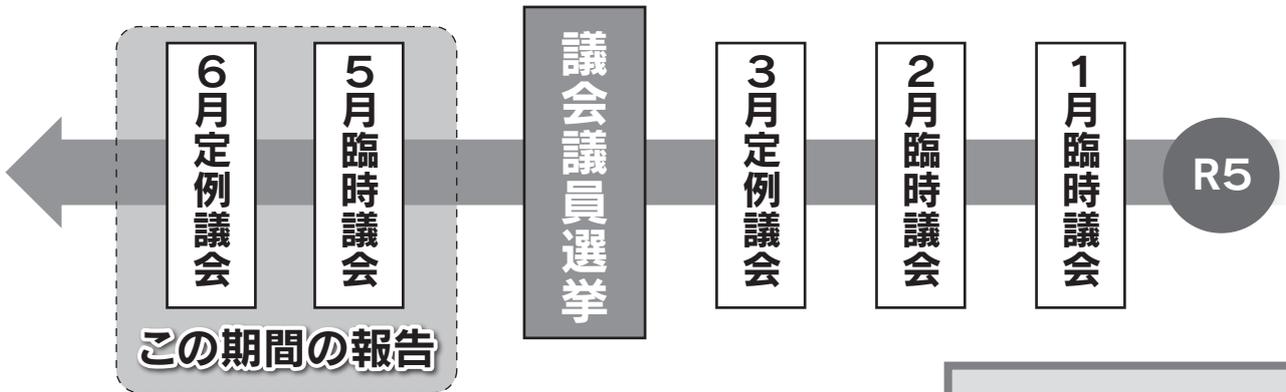
西置賜行政組合
議会議員

小遠安
関藤部
和和春
好和彦

置賜広域
行政事務組合
議会議員

◆監査委員
石山久美子
任期
令和5年5月1日～
令和9年4月29日

物価高騰 生活支援



5月1日 臨時会

主な補正予算

マイナポイント付与

- ◆ マイナポイント申告手続支援業務(期限延長)
……………395万円

生活支援

- ◆ 住民税非課税世帯等に対する
臨時特別給付金(3万円) ……2550万円
- ◆ 子育て世帯生活支援特別給付金(5万円)
……………350万円

新型コロナワクチン接種 医療関係者及び高齢者分

- ◆ 新型コロナウイルスワクチン接種等業務
……………2237万円

5月臨時議会であらまし

小国町議会議員選挙後、初の臨時会が行われた。正副議長の選出をはじめ、各常任委員会が構成された。生活支援、他の予算について提案され全議案が可決承認された。

契約関係

■ 町道湯沢長者原線 道路災害復旧工事請負契約の締結について

小国開発株式会社
代表取締役 柿崎 清
令和5年10月27日完成予定

■ 町道市野々黒沢峠線道路災害復旧工事請負契約の締結について

山和建設株式会社
代表取締役 井上 孝
令和5年9月29日完成予定

主な条例改正

■ 小国町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について

要旨 介護保険料の減免特例処置の延長

繰越し予算で災害復旧継続

令和4年度に予算化したが実施できなかった災害復旧などの事業については、予算を令和5年度に繰り越し、実施します。

特集へ P7

6月定例会

主な補正予算

- ◆ 燃料、物価高騰補助
 - 福祉施設等原油物価高騰対策緊急支援 …… **935万円**
 - 指定管理施設電気燃料高騰負担金
 - 斎場 …… **56万円**
 - 観光等 …… **572万円**
 - 体育施設 …… **222万円**
- ◆ 施設維持管理委託料(林道災害復旧工事等) …… **2050万円**
- ◆ 支援事業
 - 地域経済活性化支援事業(プレミアム商品券20%増し) …… **800万円**
 - 省エネ設備導入支援事業 …… **1000万円**
- ◆ 教育費
 - 学校給食支援事業 …… **103万円**
 - 小国小・小国中・叶水小中網戸設置 …… **120万円**
 - 文化部活動地域移行 …… **100万円**
 - 高齢者体育室等床材改修 …… **1980万円**

6月定例会 あらまし

6月定例会は6月5日から12日までの会期で行われた。令和5年度一般会計補正予算及び、特別会計等補正予算9件、条例制定2件、工事請負契約の締結、財産の取得2件が一括上程された。また、※繰越明許費等に関する報告、専決処分1件の報告があった。一般質問は5名が登壇し町政を質した。また最終日には追加議案として一般会計補正予算1件、人事案件が追加された。全議案賛成多数とし定例会を閉じた。

ちよつと解説

問 繰越明許費とは
答 歳出予算の経費のうち、性質上、その年度内に支出が終わらない見込みのあるものを、翌年度に繰り越して本年度会計とは別会計として使用することができる制度のことです。

◆ 人事案件

監査委員選任
 緑町 伊藤 幸治
 農業委員任命
 西 大谷 健人
 町原 小嶋 剛
 大石 山口 満
 若山 舟山 孝夫
 小渡 金 敦子(新)
 小股 安部 隆藏(新)
 小玉川 横山

契約関係

■町道郷土の森五味沢線
道路災害復旧工事請負契
約の締結について

山和建設株式会社

代表取締役 井上 孝

96,800,000円

令和5年12月15日完成予定

財産の取得

■ロータリー除雪車 一台

51,950,700円

昭和建機株式会社

代表取締役 石川 清

■消防車両

軽四輪小型

動力ポンプ付積載車 一台

7,230,010円

株式会社長谷川ポンプ製作所

代表取締役 長谷川 順一

主な条例改正

■小国町一般職の職員の特殊勤務手当支給条
例の一部を改正する条例の制定について

要旨 新型コロナウイルス感染症が五類感染症に変
更されたことにより手当を廃止

■小国町子育て支援センター設置条例の一部を
改正する条例の制定について

要旨 子育て支援センターをアスモ内に移転

請願

◆請願者

山形おきたま農業協同組合
代表理事組合長

若林 英毅

山形おきたま

農協農政対策本部

本部長 若林 英毅

件名 食料・農業・農村基本
法の見直しに関する請願につ
いて

紹介議員 間宮 尚江

要旨 将来にわたり国民へ安
定的に食料を供給していくた
めに、多岐にわたる基本法の
見直しに際し、生産現場の声
として国に対し強力に働きか
けること。

審査結果 全員一致で採択

意見書提出 食料・農業・農
村基本法の見直しに関する意
見書の提出

陳情

◆国に対し、適格請求書等
保存方式(インボイス制
度)の延期・見直しを求
める陳情

インボイス制度を考える
フリーランスの会

阿部 伸

◆人道的見地から、沖縄防
衛局による「沖縄本島南
部からの埋め立て用土砂
採取計画」の断念を国に
要請すること

沖縄に应答する会@山形
代表 漆山ひとみ



特集 続く災害復旧

復旧中の種沢地区の沢田川



大平峠大石沢災害現場



大平峠線大石沢側災害現場



林道横根山線災害現場

このほかにも
復旧事業が進みます



町の考えを問う

本会議及び一般質問の内容は、インターネットで録画をご覧ください。

http://www.oguni-town.stream.jfit.co.jp/?tpl=gikai_days_list&gikai_id=127



間宮尚江議員 9ページ

- 1 豪雨、豪雪によるライフラインの確保について
- 2 沼沢地区における旧工場地早期撤廃について

渡邊重信議員 10ページ

小国町の6次産業について

小関和好議員 11ページ

災害から学んだことは

石山久美子議員 13ページ

災害への対応について

小林嘉議員 12ページ

- 1 JR米坂線の復旧について
- 2 米坂線運休が及ぼす影響とその対策について

🔍 一般質問とは

議員が町長などの執行機関に対し行財政全般にわたり、実務の執行状況や将来の方針などについて、所信や疑問を質し、報告や説明を求めることを言います。小国町議会での質疑は、答弁も含め1人60分以内です。



●断水・停電時の ライフラインの確保を

●沼沢地区における旧工場地 早期解決を

間宮尚江議員

●断水・停電時のライフラインの確保

断水時の対応は

問宮 災害による断水に困窮した地区への対応と停電被害を未然に防止する予防伐採について伺う。

電力と水の重要性を実感

町長 それぞれの地域における地形や水脈などの自然条件を見極め、優良な水源地を求め、合理的な配水池を設置して給水してきた。

今般の災害では、業者の協力により道路補修と水道復旧を同時に対応してきた。複数の施設が同時に被災した場合、対応の優先度を合理的に判断していく。電力供給については、町道や林道沿線で倒木が懸念される箇所について地権者との協議を進めながら予防的に伐

採し断線の未然防止を図る。

老朽化した水道管の復旧対応は

問宮 老朽化の現状の把握、復旧修繕をどのように進めるのか。

地域整備課長 収支の均衡を図りながら計画的に行っていく。



南部地区 倒木による停電発生

予防伐採を早期に

問宮 当初予算で予防伐採の予算が計上され承認したが、進捗状況、

スケジュール、地権者との話し合いは。

建設技術主幹 南部の

長者原内川線は所有者による伐採が完了している。北部の3路線では、今後所有者調査を行い進めていく。

問宮 林野庁の掲げる「重要インフラ施設周辺森林整備」を創設した他の自治体を参考にして早期に予防伐採終了の結果を望む。

●旧工場地早期撤廃

住民の声は届いているか

問宮 沼沢地区の旧工場地周辺の、20年にも及ぶ景観や危険性について、いかがお考えか。

早期撤去を継続的に指導

町長 県とともに立ち入り調査や同社からの聞き取りを行っている。

県に対し重要事業要望として強力な指導や勧告に向けた要望を続けている。

問宮 土砂災害特別警戒区域になっっているが、緊急点検はしているのか。

建設技術主幹 年に1度実施している。

問宮 部分的にでも進め、早期解決を望む。

※「重要インフラ施設周辺森林整備」：道路や送配電線などの重要なインフラ施設周辺森林について、市町村等、森林所有者、施設管理者が協定を締結し、森林整備を行い、災害の未然防止につながる取り組みに対して林野庁が支援するもの。

まるごとブランド構想の課題解決に向けて

わた なべ しげ のぶ
渡邊 重信 議員



町の六次産業をどう考えているのか

渡邊 町長の掲げた小国町まるごとブランド構想に向けて、本町の農林水産業で、様々な取り組みが行われている。しかし、せっかくの良い素材を活かす二次産業が本町には少ない。

山菜や漬物の加工場もあるが、生産者や収穫した一部の方々の利用に止まり生産が上がらない。

少子高齢化が進む中、産業の発展と継続性は見込めるのか。

「次代のしごと」を生み出す

町長 豊富な資源を活用すべく関係団体を中心に「小国まるごと農商工ネットワーク協議会」で組織化し加工基盤の整備や技術支援を

行ってきた。地域資源に磨きをかけた「次代のしごと」を生み出すまちづくりとして継続的に取り組む。

町内の売るものが不足

渡邊 素材を売るだけでは年間の仕事としては続かない。付加価値のある商品づくり、生産量を上げる必要がある。



小国初の水産物加工場の整備強化を

る。課題の整理は出来ているのか。

地域総合商社へ期待する

町長 二次産業に取り組む方々も増えているが、単体の活動が中心である。

小規模事業者の後継者、人材不足が大きな課題。また保健所対応

◀二次産業にもっと力を入れるべき



の設備投資、加えてインボイスの導入も大きな課題である。その為にも、地域総合商社への期待は大きい。

人材確保と時代に合わせた設備の確保が必要

渡邊 売る仕組みは出来たが、売れる物を作るには何が必要か。目標と期限を決めて進めることを強く望む。商社の製造部門も必要ではないか。

業者が抱える課題への対応が必要

町長 収穫・加工現場の人材確保には、マルチワークの導入も含め積極的に進める。

加工場等の整備には業者の抱える課題をしっかりと聞き、補助事業も活用し課題解決に向けて進める。



災害から学ぶべき

こ せき かず よし
小 関 和 好 議 員

災害から何を学んだか

小関 本年も異常気象や地震が頻発し、各地で被害をもたらせている。本町も昨年の豪雨・豪雪災害を経て防災に関して新たな段階に進むべきと考える。昨年の災害からの課題に対して対応していることが重要と思われる。災害時の対応と今後の課題について町長の見解を聞く。

一、消防、防災組織、地区組織との連携は

町長 昨年の豪雨時には、早期に全庁的な災害対策組織を立ち上げた。状況に応じ職員配備体制を敷き、被害状況の把握、各防災関係機関との情報共有、応急対応の連絡調整、情報伝達に努めた。消防関係組織や自主防災組織が共同で、現

場対応や避難誘導を行うなど、連携は図られていたものと認識している。

二、避難所の開設と高齢者の誘導は

町長 早期に担当職員により避難所を開設させた。高齢者の方々は避難情報、避難指示を発令し、避難所への誘導に努めた。町民の皆様は安全確保については、役割を果たせたと認識している。

三、水道ライフラインの確保は

町長 山形市、南陽市、長井市、白鷹町より給水車と職員の派遣による給水活動を行った。また、給水車まで来られない方々については職員が水の配布を行った。

四、災害後の対応は

町長 簡易水道では、復旧作業を行ったほか、すべての簡易水道について点検を行った。

町道に関しては、生活道路を優先に速やかに土砂の撤去を行った。

五、今後の課題は

町長 災害の経験を活かし、地域防災計画に

基づく、各状況に応じた実施計画や対応マニュアル等を作成していく。

小関 小国町の現状に沿った防災組織の構築と、迂回路として重要である峠道路の整備は早急に考えるべきでは。

町長 高規格道路の早期完成を含め峠の整備も要望していく。



小国町に安全神話はない(除雪センター裏)

● JR米坂線の早期復旧を ● 運休中の移動手段は

こばやし よしみ
小林 嘉 議員



● 災害復旧を第一義に

小林 米坂線については災害からの早期復旧を第一義に考えるべきでは。

国交大臣やJR東日本新潟支社に、早期復旧の要望活動をしている

町長 去る4月18日に

JR東日本新潟支社長が来庁し説明を受け、被災箇所は山形県で68箇所、新潟県で44箇所、復旧経費は86億円、工期は着工から5年を要するとのことであった。今後、関係機関と連携しながら検討されていくものと思う。

町は、災害発生直後に国交大臣に早期復旧をお願いしたほか、米坂線期成同盟会や、新潟・山形両県及び関係市町村長で、JR新潟支社を訪問し早期復旧の要望活動をした。

今後は、沿線住民の声を届け、利用促進などを含め関係機関と一体となって、JRや国、県などに早期復旧を要望していく。

私見であるが、国交大臣は「災害復旧は国の責任で」と話していたこともあり、国にやっていただきたいと思っている。

● 移動手段の対策は

小林 町民の移動手段や利便性確保のための対策はどの様に考えているのか。

バス代行輸送で対応

町長 現在、JRでバス代行輸送が行われ、運行時間の改善や、米

沢駅までの直通便の設定など、利用者の意見にきめ細やかに対応し、随時改善が図られ、通学先まで送迎する保護者も減少したと聞いている。

米坂線の復旧要望と共に、代行輸送の改善についても引き続き要望や情報共有を図っていく。



米坂線の早期復旧を



災害への対応について

いしやまくみこ
石山久美子 議員

災害復旧作業の進捗状況、今後の予定は

石山 昨年の豪雨被害から10カ月が過ぎた。作業の進捗状況について問う。

交付金を活用し、計画的に進める

町長 豪雨災害による農地・農業施設の被害は三百五箇所が確認された。特に松岡頭首工及び井の下頭首工にかかわる幹線水路等の被災で、被害規模が大きい。農業施設災害復旧事業により、工事を進めていたが、降雪時期と重なり、今年度に事業を繰越した。

一方、交付金を活用して、農業保全に取り組んでいる地区では、被災箇所が百箇所確認された。林道施設では、二十五路線百二十箇所被災が確認された。規模の大きい林道田沢頭峠線ほか四路線八箇所は、国の災害復旧事業の交付決定を受けた。今年度に繰越し5月10日に工事を発注した。

害が確認された。規模の大きい林道田沢頭峠線ほか四路線八箇所は、国の災害復旧事業の交付決定を受けた。今年度に繰越し5月10日に工事を発注した。



整備中の「井の下幹線水路」

災害発生当時、住民への呼びかけは

石山 住民への避難の呼びかけや、災害現場への確認作業はどう行ったのか。

適切に対応した

町長 沖庭地区、北部地区に「高齢者等避難情報」を発令し、避難所を開設した。

防災ラジオ、町ホームページ、フェイクブック、ラインを通じて呼びかけをし、地区内の自主防災組織にも同様の連絡をした。

大雨・洪水警報が発表されたことから、担当職員により各地区の状況把握や警戒巡視を行い、関連情報の収集、伝達を実施した。

「災害対策連絡会議」を立ち上げ、各課第三



通行止めになった梅花皮橋付近

次配備体制を敷き、被害状況、対応協議を実施した。

防災ラジオは活用されたのか

石山 避難を迅速に促すためにも防災ラジオの活用は重要と考えるが災害発生時に有効に活用されたのか。

町長 防災ラジオで情報を伝達した。スマートフォン等の操作に不慣れな高齢の方にも災害の状況や避難情報の伝達が行われたものと認識している。



きめ細やかな情報提供を



講師 武田 裕樹 氏



議員研修会

日時 令和5年5月22日(月)

会場 役場4階 大会議室

講師 山形県町村議会議長会
参与・前事務局長

武田 裕樹 氏

テーマ

「地方議会の現状と今後の対応、
議会は言論の府」

要旨 議会制度・運営等の見直し、発言にかかる基礎知識等、議会議員に求められている課題や役割を再認識する研修となりました。

議会の活動をいかに町民に伝えるか。まずは自分の学びをしっかりといきたい。“石山”

議員のなり手不足に対して多様な層の住民が議会に参画しやすくするための環境整備の必要性を感じた。“柴田”

議会の政策形成、立案能力の向上のため、情報収集分析の機会を数多く設けることが大切。“間宮”

議会広報モニター募集

議会広報誌「議会だより」に町民の方々のご意見をいただき、より身近に分かりやすく、興味を持って読んでいただけるよう、モニター募集を行います。

- ◆モニター依頼期間……令和5年10月号～令和7年2月号（6回分）
- ◆募集人数……若干名
- ◆対象者……町内在住の方
- ◆申込み方法……氏名・住所・連絡先をご連絡下さい。
- ◆連絡先……議会事務局 TEL 62-2448 FAX 62-5464
gikai@town.oguni.yamagata.jp

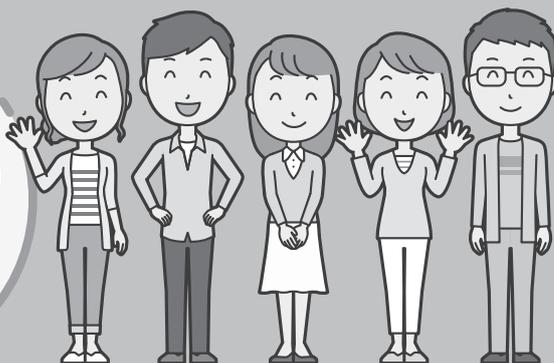
記事の写真はどうでしたか

議会活動の写真が少ないように感じました。小さな画像でもいいのであった方が活動を理解しやすいと思います。

全体の感想をお書きください

以前に要望した「用語説明」なども随所に入れていただき、提言が少しでも役にたち嬉しく思います。

ご意見の紹介



レイアウトはどうでしたか

バランスも良く読みやすくなってきた。

表紙の写真について

- 子供たちの元気な様子が伝わる大きな写真がよかった。
- 表情が豊かでイキイキとしていて集まっていた人たちに興味を持ちました。

あなたが関心を持った記事は何ですか

- 小国高校生との意見交換会は関心を持った。
- 一般質問では、様々な角度から町政に対する提言や課題を質していることに毎回興味を持って読んでいます。

がんばってます!

夫と愛犬小次郎と暮らしています。



プロフィール

氏名 鈴木 智美 ともみ
 住所 小国町大字小坂町
 趣味 釣り
 消防グッズ収集
 資格
 ● 愛玩動物飼養管理者
 ● ペットセーバー
 ● JKC公認トリマー
 職業
 Pet salon
 「トリム」オーナー

Q 生き生きとお仕事していらっしゃいますね。ご自身の支えは何ですか?

A 犬の1頭、1頭の命に

寄り添いながら仕事をしている時、犬の喜びや、飼い主さんの笑顔に出会えることが、一番の励みです。

Q 開業10年目を迎えました。ご苦労はありましたか?

A 言葉を話せない犬たちを預かる責任は重大で、店の年数とともにシニア犬も増え、犬の体調変化には気を配ります。

Q おもに犬のトリミングが中心のお仕事ですか?

A トリミング中心です。様々な犬種、小型犬またシニア犬も多くいるので、トリミングだけでなく、個々の体調管理を常に考え、犬に触れます。病気の早期発見につながるよう異変に気づいて、飼い主さんに教えてあげること、大切な仕事だと思っています。ペットホテルも営業していますよ。

Q 嬉しいって思う時は、どんな時でしょうか?

A 開業当時、小学生だった子どもさんが、就職して自分の犬の送迎にお店に来てくれたことや、保

育園から高校生へと成長する子ども達の姿を犬の成長と一緒に見守ることができて、とても嬉しく感じます。



トリミングお待ち中

Q 愛犬との別れという悲しい時もありますよね?

A お店のビジョンは「命に寄り添い、暮らして笑顔に彩る」です。飼い主さんの笑顔を支えるお手伝いができればと思っておりますが、それは同様に亡くなってしまうとお空組の犬たちのご家族にもいい思い出として、一緒に笑顔になってもらうことです。

Q うれしかった言葉は?

A 飼い主さんから「このお店が、小国にあつてくれて良かった!」と言ってもらえたことです。



シャンプー中も見つめ合う智美さんとゆうちゃん

Q 町でお気に入りのスポットは?

A 亡くなった愛犬との思いでの場所「朴木峠」です。

一頭、一頭の犬と、その飼い主さんへ注ぐ深い愛情を感じました。ありがとうございました。
 (文責 問宮)

次は6月定例会です。傍聴もOKですよ。

議会に対してのご質問、ご意見をお寄せください。

議会事務局 (62)2448

編集後記

山あいの緑樹が日増しに夏めいてくる時、今年はこの夏の安心、安全を祈るばかりです。

また、新型コロナウイルス感染症が第5類に移行されたことにより、数年間にも及ぶその脅威から脱出することはできましたが、無くなったとは言えません。今後、市民の皆様の公共の安全、公共の信頼を保障していかなければならないものと、議員一同、新体制のもと最善の議会であるよう努力してまいります。

議会だよりも、皆様の身近な広報であるようその役割に努め「町民の声」を反映していただける活動を心がけていきます。
 4年間、よろしくお願いたします。

問宮(記)

発行責任者

議長 安部 春美
 副委員長 伊藤 弘行
 委員 石山久美子
 柴田 伸也
 間宮 尚江
 小関 和好
 遠藤 和彦

副委員長 石山久美子
 委員 柴田 伸也
 間宮 尚江
 小関 和好
 遠藤 和彦

遠藤 和彦